



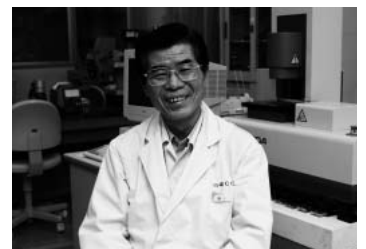
それにしても最先端の精密測定が、こんなに人間くさくていいものなのか？ レーザとセンサとコンピュータで自動測定すれば、感情も体温も関係ないではないか？

「理想は、『自動化です』と鎌上さんもつなずく。精度が1ケ

タ上がるたびに、いったい何を測っているのが自分でもわからなくなる。本格的なナノメートルの時代には、全自動測定しかないでしょう」

精密測定の主役が人からコンピュータに移る時、それは巨大な技術革新が起きる時だ

ろう。量子コンピュータや分子レベルでの加工技術が実用化される時代。しかし、そこでも技術の根底を支えるのは、熟練した職人の技に違いない。何しろ人という万能センサは、指先の温度まで自動制御してしまつたのだから。



PROFILE

かまがみ よしのり

昭和22年山形県出身。地元の工業高校を卒業後、昭和41年に(株)ミツトヨ入社。品質検査部門へ配属される。最初のお盆には、そのまま逃げて出しそうなのが怖くて同僚を連れて帰省したというほど仕事嫌いだ。だが25歳の計量士資格取得を機に変身。平成9年、川崎市マイスター認定。2004年、現代の名工に選ばれる。

